

大路農泊推進情報

令和2年6月22日

第19号

(一社) みつおおじ

【大路焼が再び注目される！】

昨年の10月19日に旧小橋邸にて大路焼の展示を行いました。多くの方に来ていただきましたが、その時来られていた立杭焼の陶芸家 北村圭泉先生からもう一度見せてほしい壺があると連絡があり、6月4日持ち主のH氏にお願いして再度見ていただきました。続いて、北村先生から丹波焼のルーツにもなるのではないかと兵庫陶芸美術館へ調査依頼をされ、6月8日に兵庫陶芸美術館の陶芸文化振興専門員の長谷川様と学芸員の岡田様にH氏宅にお越しいただき詳しく調査されました。

その壺は丹波焼に間違いないが、一般の丹波焼とは形も首のところも珍しいものだと言われました。

岡山の備前から立杭へ流れていることは知られていますが、時代考証するとその間に大路焼も存在する可能性が高いと言われていています。この日は写真に撮り計測され、持ち帰って他の専門員や学芸員らと研究すると言われ、後日に連絡があります。



【旧小橋邸でのシューベルティアードたんば街角コンサートは 延期】

丹波の森協会よりシューベルティアードたんば街角コンサートを、旧小橋邸にて開催する準備に向けて5月に打ち合わせをすることになっていましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で、丹波篠山市・丹波市で行われる10カ所の日程は全て中止となりました。大変残念でしたが、来年の令和3年の開催予定と